ダムニュース

［法　　人　名］一般財団法人ダム技術センター
［郵 便 番 号］〒110-0008
［住　　所］東京都台東区池之端2-9-7池之端日殖ビル2F
［電　　話］03-5815-4161
［　F　A　X　］03-5815-4162
［webサイト］http://www.jdec.or.jp/
［電子 メール］damnews@jdec.or.jp

この号の内容

1　TOYOTA　SOCIAL FES !!　２０１９
　青森環境保全プロジェクトを実施

2　令和元年初めての
　浄土寺川ダム見学会を実施

3　Dam news　投稿記事募集

4　図書販売

”津軽白神湖”をバックに記念撮影。
充実した1日だったね！

GOOD DESIGN AWARD 2017年度受賞

TOYOTA SOCIAL FES ！！2019
青森環境保全プロジェクトを実施
～白神山地を学ぼう！守ろう！楽しもう！～

国土交通省が管理する一級河川岩木川水系岩木川の上流部に位置する“津軽ダム”の津軽白神湖パークをメイン会場として、令和元年７月１３日（土）に株式会社東奥日報社が主催となり、『トヨタソーシャルフェス！！２０１９』が実施されました。

西目屋村、“津軽白神湖”での実施は今年で３年目となります。『青森の貴重な自然と我々の生活とのかかわりを知り、未来に残す』ということを目的に実施されたこの取り組みは、西目屋村・白神山地の大自然を満喫しながら、津軽白神湖周辺で清掃活動を行うとともに、“カヌー・ボート体験”や自然素材を使用した“クラフト教室”などを実施し、親子で自然環境の保全について楽しみながら学びました。

当日は、小雨が降っている中での開始にはなりましたが、親子連れなど参加者約１４０名の普段の“おこない”が良かったのか徐々に天気は良くなり、終わる頃にはすっかり青空が広がりました。世界自然遺産白神山地の玄関口で実施されたこのイベントは最高の“非日常”を参加者皆に体感させてくれたのではないかと思います。

また、この日は西目屋村教育委員会勤務で“東京オリンピックカヌー競技代表選考真っ只中の矢澤一輝選手が特別ゲストとして参加しイベントを大いに盛り上げました。参加者達は、思いがけず”充実したプレミアムな時間“を過ごすことができました。

▲遠くに“津軽ダム”を臨み清掃活動に汗を流しました。
『綺麗でゴミが少ない！』
とは男の子の声！！

▲東京オリンピックカヌー競技代表選考真っ只中の矢澤一輝選手がカヌーの指導をしてくれました。
超プレミアムです！

▲雄大な”津軽白神湖”を優雅に体感！

▲自然素材でつくる”クラフト教室”です。
上手だね！

▲トヨタの環境へ配慮した最新型”エコカー“のラッピング仕様の車も展示！
矢澤選手も笑顔でサービスショットに応じてくれました。

●プロジェクト開催新聞広告

“トヨタソーシャルフェス”とは？

2012年3月から始まったこの取り組みは、今年で6年目を迎えます。トヨタ自動車が製造・販売するハイブリット車『アクア』のプロモーションの一環としての活動ですが、『アクア』という車名から『水』をテーマに選び、川・湖・海の保全活動を中心に取り組んでいます。青森県での活動については、株式会社東奥日報社が主催者となり、保全活動だけではなく、カヌーなどの体験活動も絡めて『学ぼう・守ろう・楽しもう』をモットーに活動しています。

津軽ダムイメージキャラクター
ペッカー君

津軽白神湖
Tsugaru-Shirakami-Lake

令和元年初めての浄土寺川ダム見学会を実施

▲写真－1
監査廊内でたわみ計について
説明をしている様子。

▲写真－2
放流バルブ室を見学している様子。

▲写真－3
発電機を見学している様子。

▲写真－5
10年ぶりにリニュールアルした
ダムカード。
（2019年4月1日より監視所にて配布）

去る2018年11月17日の秋に行ったダム見学会に引き続き、福井県勝山市浄土寺川上流に位置する“浄土寺川ダム”にて令和元年初となるダム見学会を6月8日に実施しました。この日の天候はあいにく小雨で、見学会中晴れ間が見られることは結局ありませんでしたが、市内外から20名の参加がありました。

浄土寺川ダムは、平成元年から工事が始まり20年かけて完成した重力式コンクリートダムです（堤高 72.0m、堤頂長 233.0m、堤体積 269,560㎥）。ダムの目的は洪水調節、水道用水の確保、既得用水の安定化、河川環境の保全等です。

近年自然災害が多く、治水の関心が高まっているこの機会にダムの役割を知って頂こうと見学会を実施しました。参加者年齢は60歳代以上の方が主でしたが、皆さん熱心に職員の説明に耳を傾け、ダムの内部に足を踏み入れていました。堤体内にあるプラムラインでは、皆さんからいろんな質問がありました。その中でも地震時のダムに対する質問が多かったです（写真-1）。そして放流バルブ室では機器の多さにびっくりしていました（写真-2）。発電所では、稼働している発電機を間近に見た方は大きな音に驚いていました。そして余剰水で発電をしているということに感心していました（写真-3）。見学者の中にいた地元の方は、「うちの田んぼの水はこの浄土寺川ダムの水を使っている」と言っていました。小雨が降る中でしたが、皆さんで浄土寺川ダム堤体をバックに全員集合写真を撮りました（写真-4）。

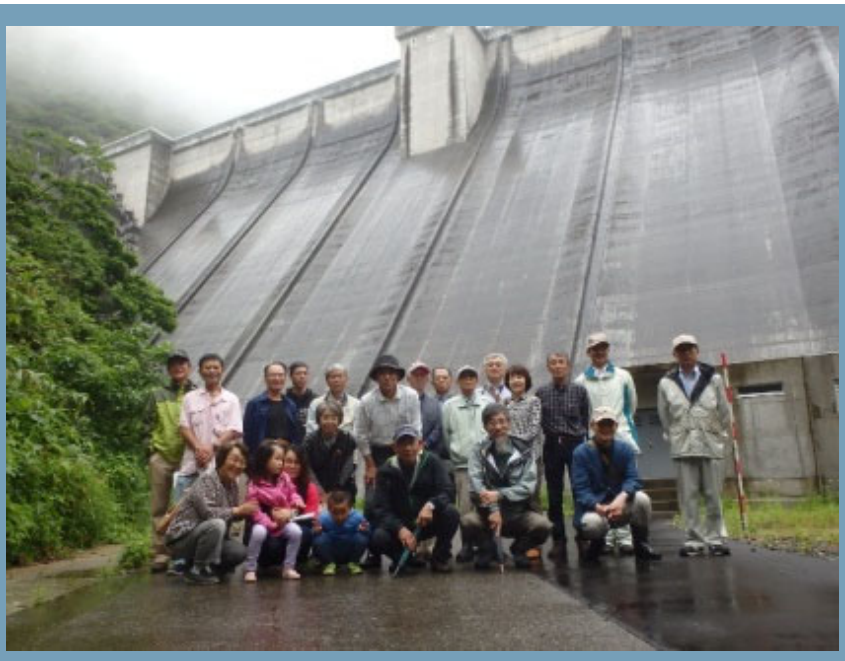
見学会後、アンケート調査を実施しました。「楽しかった」という意見が多く、「小規模ダムでも安全対策が細部まで行われていることに改めて感心した」ともありました。一番心に残っていることでは「リムトンネルが思いがけず楽しかった」、「堤体内と外部との気温差」、「地盤の強化・ダムの歪みについて」、「小水力発電の運転がみられた事」などがありました。今回の見学会では、参加者の方からたくさんの質問がありましたので、職員はそれに答えながらも改めて業務の重要性を確認した見学会となりました。

終了後、参加者より「説明が丁寧で、見学会が楽しかった」と声をかけていただき嬉しかったです。

ダム見学会では年齢層が広いので、皆さんにダムの魅力や役割が伝わるようこれからも楽しく和気あいあいとした見学会を開催していきたいと思います。

2019年4月1日より約10年ぶりにダムカードが新しくリニューアルしました（写真-5）。今回のダムカードには、2016年に設置された発電所も、ドローンを使った空撮写真で写っています。浄土寺川ダム監視所にて配布していますので、是非お越しください。

（福井県　奥越土木事務所　笹生川・浄土寺川ダム統合管理事務所）



参加者全員集合写真（写真－4）

Dam　news　投稿記事募集

『ダムニュース』編集事務局では、下記のようなあらゆる情報・話題を広く募集しております。
内容等につきましては特に問いませんので、下記を参照の上、積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。

1．イベントの開催通知・報告（水の週間、サマーカーニバル、花火大会、コンサート等）

2．小学生等によるダム見学会についての報告（絵・感想文等）

3．ダム所在地等における伝統的な行事の紹介（祭り等）

4．ダム事業に関するPR 活動の紹介（パンフレット、ポスター等）

5．ダム周辺の自然紹介

6．ダム周辺の観光レクリエーション活動の紹介（スポーツ大会等）

7．研究会・講演会・シンポジウムの開催（通知・報告）

8．水害・地震等報告

9．ダム資料館・交流館等の紹介

なお、ご不明な点及び執筆にあたっての要領等につきましては、下記担当までご連絡ください。

※ダムニュースの配信先変更や配信停止などのご希望がありましたら、
ダムニュース編集事務局までご連絡をお願い致します。

［法人名］　一般財団法人　ダム技術センター『ダムニュース』　編集事務局
［郵便番号］〒110-0008
［住所］東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
［担当者］企画部　ダムニュース担当
［電話］03-5815-4161
［FAX］　03-5815-4162
［電子メール］damnews@jdec.or.jp

図　書　販　売

1.　ダム技術
・月刊誌 A4 判 12 部/年 年度契約（定期購読申込）
平成31年4 月号（No. 391）～9月号（No. 396）　1,260円（税別・送料込）
10月号（No. 397）～令和2年3月号（No. 402）　1,273円（　〃　）

2. 多目的ダムの建設 平成17年版（全7巻）
・平成17 年 6 月発行 A4 判 88,200 円（税込・送料別）

3. RCD工法技術の進歩
・平成17 年 12 月発行 A4 判 4,500 円（税込・送料別）

4. ダムの安全管理
・平成18 年 5 月発行 B5 判 2,000 円（税込・送料別）

5. 台形CSG ダム施工・品質管理技術資料
・平成19 年 9 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）

6. 地質現象とダム
・平成20 年 6 月発行 A4 判 7,000 円（税込・送料別）

7. 改訂3版 コンクリートダムの細部技術
・平成22 年 8 月発行 A5 判 6,000 円（税込・送料別）

8. ダム工事積算の解説 平成23 年版
・平成23 年 5 月発行 A4 判 1,900 円（税込・送料別）

9. 改訂版　巡航RCD工法施工技術資料
・平成24 年 2 月発行 A4 判 2,000 円（税込・送料別）

10. 台形CSG ダム設計・施工・品質管理技術資料
・平成24 年 6 月発行 A4 判 3,000 円（税込・送料別）

11. ダム基礎における立体的岩盤透水性分布の把握手法
・平成25年 5 月発行 A4 判 5,000 円（税込・送料別）

12. ダム技術Q&A－総集編－改訂版Ⅰ
・平成27年3月発行　A4判 3,000円（税別・送料別）

13. ダムの地質調査―ボーリング・調査坑・トレンチ―
・平成27年3月発行　A4判 6,000円（税込・送料別）

14. ダム工事積算の解説（平成28年度版）
・平成28年5月発行　A4判 2,500円（税込・送料別）

書店では販売をしておりません。
お申込みは、ダム技術センターへ、FAXまたはE-mailをご利用下さい。
申込用紙の形式は定めておりませんが、参考形式が必要な方は、当センターホームページにて、出版物の項目よりPDF形式でダウンロードする事が可能となっております。

［法人名］　一般財団法人　ダム技術センター　図書販売
［郵便番号］〒110-0008
［住所］東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
［担当者］図書販売担当
［電話］03-5815-4161
［FAX］　03-5815-4162
［電子メール］books@jdec.or.jp

図書注文書

一般財団法人ダム技術センター図書販売担当宛

FAX（03-5815-4162）

下記のとおり注文します。

No	書籍名	部数
1		
2		
3		

＊公/私どちらかに〇をお付け下さい。 公→宛名（会社名）　私→宛名（申込者名）となります。	公・（宛名（会社名））　私・（宛名（申込者名））		
申込者 （ご氏名）	ふりがな		
会社名			
事務所名・ 部署名			
所在地	（〒　　－　　）		
TEL		FAX	
E-mail			
通信欄			

◆ご注文の商品は、3 日～10 日程度でお手元に届きます。

◆請求書、納品書、見積書は、商品とは別途郵送にてお届けいたします。(到着日は、商品と1 日程度誤差あり)

◆代金お支払いについて、郵便振替時の手数料は当センターが負担いたします。なお、銀行振込でお支払いされる場合には、お手数ですがお振込日・お取扱銀行・請求書番号(請求書右上)・金額を必ず書面(FAX もしくは通知状)にてご通知下さい。

◆銀行振込の手数料は、お客様のご負担となります。ご通知がない場合、代金が振り込まれても未払い扱いとなり、後日再請求する可能性があります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◆特定の様式による請求書等をご希望の際は、注文書、指定請求用紙などを同封の上、郵便もしくはFAX、E-mail等にて上記の問い合わせ先にお申し込み下さい。なお、郵便によるご注文の場合、商品到着までに通常より日数がかかりますのでご了承下さい。

［法人名］　一般財団法人　ダム技術センター　図書販売
［郵便番号］〒110-0008
［住所］東京都台東区池之端2-9-7 池之端日殖ビル2F
［担当者］図書販売担当
［電話］03-5815-4161
［FAX］　03-5815-4162
［電子メール］books@jdec.or.jp